

環境配慮に向けて 段ボール印刷用インキが 18色に集約されます。

概要

2024年4月1日より補整色32色と特練色
を標準色18色に集約していきます。

準備・移行期間：2023年4月1日～2024年3月31日

段ボール箱の製造工程において、版替の毎にインキ洗浄が行われ、不要となった標準色以外のインキが廃棄処分されるなど、環境負荷増（資源枯渇やCO₂排出量削減の妨げ）の原因が常態化しております。持続可能な社会を実現する為には早急な見直しが必要と考え、3組織が業界枠を超えた改善活動に取り組み始めました。サプライチェーンでの環境負荷軽減（Scope 3）には、段ボール製品を発注・消費するお取引先様との連携が不可欠です。

環境負荷の 軽減効果

インキを集約することで、廃棄ロスインキの
軽減や二酸化炭素排出量の削減など、
環境負荷に対する効果も期待できます。



廃棄インキの削減
1,525t/年



CO₂排出量の削減
4,972t/年
（東京ドーム面積換算：221杯分）

【算出】1ロットの平均を500㎡として、1ロットあたりの印刷インキを0.4kg、廃棄インキを0.3kgと想定した上で、削減対象のインキ数量から、削減されるロット数を想定、そのロット数における廃棄インキ数量を算出し、インキのCO₂排出原単位（印刷インキ工業会CFP値）を乗じて廃棄インキに係るCO₂排出量を算出。

※算出した各数値は条件により異なり、あくまで参考値です。

段ボール印刷用インキ標準色 18色

D-010	ぼたん	
D-030	あか	
D-040	あか	
D-050	おれんじ	
D-060	おれんじ	
D-070	き	
D-090	くさ	
D-110	くさ	
D-130	あさぎ	
D-140	ぐんじょう	
D-160	あい	
D-170	こんあい	
D-180	こんあい	
D-200	むらさき	
D-220	ちゃ	
D-240	ちゃ	
D-250	しろ	
D-260	くろ	

※色の表現はあくまでイメージです。印刷環境、条件により発色・再現が大きく異なります。

皆様のご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。